

タイトル…『汐製菓会

社の新作…フィナン

シエー』

登場人物

- ・ 汐（しお）…30代。汐製菓会社社長。
奇抜な発想で世の中を驚かせたい野心家。「面白きことも無き世を面白く」が座右の銘。

- ・ 塩田（しおだ）…30代。汐の秘書。真面目で心配性。製菓会社に就職したのはお菓子好きだからだが、社長の突飛なアイデアに毎度振り回される。

・ 第一幕…新商品の開発

- ・ シーン…会議室

- (汐製菓会社の会議室。汐がホワイトボードに向かって)

- 汐：「皆さん、今日は新商品の開発について話しましょう！ 私たちの次のヒット商品を生み出すチャンスです！」

- (社員たちが集まる。少し緊張した雰囲気)

- 社員 A：「社長、何か具体的なアイデアはありますか？」

- 汐：「うーん、そうだな…。甘いお菓子は飽和状態だし、ちょっと冒険してみようと思うんだ。」

- (社員たちが期待の眼差しを向ける)

- **シーン 2: アイデアの提案**

- (社員たちが次々とアイデアを出し始める)

- 社員 B：「じゃあ、フルーツフィナンシエはどうですか？ オレンジやブルーベリーを使った…」

• 社員O：「それなら、抹茶を使った和風
フィナンシエも良いかと…」

• (汐、頷きながら耳を傾ける)

• 汐：「それもいいけど、もっと刺激的なものが欲しいんだ！何か思いつかないかな
…」

• (しばらく沈黙)

• 塩田：「社長、もしかして、辛いお菓子
…？」

• (汐が目を輝かせる)

• 汐：「おお、辛いお菓子！それは面白い！
い！どうせなら、ハバネロを使ったフィナンシエにしよう…」

• (社員たち、驚きと笑いの反応)

• 社員A：「本当にそれで大丈夫なんです
か!？」

• 第二幕：試作と試食

• シーン③：試作室

• (試作室で汐と塩田がフィナンシェを作っている。汐がハバネロの粉を投入)

• 汐：「これで甘さと辛さのバランスを取るぞ！」

• 塩田：「社長、本当に辛いのが好きな人がいるんでしょうか…？」

• (汐、ニヤリと笑う)

• 汐：「辛いものは癖になるから、きっとハマる人がいるさ！」

• (フィナンシェが焼き上がる。香りが漂う)

• シーン㊦：試食会

• (社員たちが集まり、試食する)

• 汐：「さあ、これが『ハバネロフィナンシェ』だ！」

• (社員たちが一口食べる。表情が変わる)

• 社員B：「辛い…でも美味しい！」

● 社員O：「甘さの中に辛さが潜んでいる！これ、クセになりそう！」

● (塩田、ホツとした表情)

● 塩田：「本当にウケるのかも…」

● 第三幕…クライマックス

● シーン5…メディアの反響

● (メディア関係者が汐製菓に取材に来る。インタビューの場面)

● 記者A：「ハバネロフィナンシエの発表、驚きました！消費者の反応はどうですか？」

● (汐、嬉しそうに)

● 汐：「実は、すごい反響なんです！日本だけでなく、海外からも注目されています！」

● 記者B：「辛いお菓子は海外でも人気ですから、期待が高まりますね。」

● (塩田、緊張しながら)

- 塩田：「本当に国内外の人々にウケるのでしょうか…？」

- シーン⑨：海外展開

- （海外からのバイヤーとの会議。汐と塩田が緊張しながら参加）
- バイヤーの：「あなたたちのフィンランシエ、非常にユニークだと思いますが、辛いものは海外では少しリスクですよね…」
- 汐：「確かに、でも日本での反響はすごい！ぜひ、試してほしい！」
- （バイヤーたちが試食し、一口食べる。驚きの表情に）
- バイヤーの：「これ、意外といける！辛さがクセになる！」
- （バイヤーたちが盛り上がり、汐と塩田も安堵の表情）
- 塩田：「本当にウケるのかも…」

- シーン⑦：国際イベント

・（国際的な食品イベントでブースを構える汐製菓。たくさんの人々が集まっている）

・ 汐：「皆さん、ぜひこの『ハバネロフィナンシェ』を試してみてください！」

・（来場者たちが試食。驚きと笑い声が広がる）

・ 来場者 A：「これは…想像以上に美味しい！」

・ 来場者 B：「辛いけど、後を引く味！クセになりそう！」

・（塩田が緊張しながら見守る）

・ 塩田：「大丈夫かな…」

・ 汐：「大丈夫さ！この瞬間を楽しんで！」

・ シーン∞：成功の報告

・（オフィスに戻る汐と塩田。社員たちが拍手で迎える）

- 社員たち：「おめでとうございます！フイナンシエ、大成功です！」
 - （汐、嬉しさのあまり跳びはねる）
 - 汐：「よし、次はもっと面白い商品を考えてよう！『ワサビショートケーキ』なんてどうだ？」
 - （全員驚いて一瞬沈黙）
 - 社員たち：「えええっ！？またそれですか！？」
 - （場内が笑いと驚きで包まれる）
 - 塩田：「社長、ちょっと待ってください…！」
-

• 第四幕…さらなる挑戦

• シーン6…新商品のブレイクストーリー ング

- （社員たちが再び会議室に集まっている。汐がホワイトボードの前に立っている）

- 汐：「さて、次なる新商品について話し合おう！みんな、何か面白いアイデアはないか？」
- （社員たちがしばらく黙って考える）
- 社員 A：「社長、さっきのハバネロフィナンシエは成功したから、次も辛い系でいいんですか？」
- 社員 B：「それとも、全く別の方向に行くのもありかもしれませんね…」
- （汐、真剣な表情で頷く）
- 汐：「そうだ、辛いのは大人気だけど、他の味も考えてみよう。何かアイデアがある人は？」
- 社員 C：「私、チョコレートと抹茶の組み合わせはどうですか？日本の伝統と洋風を融合させる！」
- （汐、興味を示す）
- 汐：「おお、それは面白い！抹茶のほろ苦さとチョコレートの甘さ、そこに辛さを加えたらどうだ？」

- 社員の：「それはいいかもしれませんが、また辛くなるのでは…？」
 - (塩田、心配そうに手を挙げる)
 - 塩田：「社長、辛さはちよっと置いておいて、抹茶とチョコだけで勝負するもの
ありかと…」
 - (汐、考え込みながら)
 - 汐：「じゃあ、辛さをどうするかは後で考えよう。みんな、試作してみてください！」
-

- **シーン二〇：試作と試食**

- (再び試作室。チョコレートと抹茶のフィナンシェを作るスタッフたち)
- スタッフA：「今度はどうですか？ 抹茶の粉を入れました！」
- (スタッフがフィナンシェをオーブンに入れる。汐と塩田が期待に満ちた表情で待っている)

- 塩田：「前回のハバネロフィナンシエの反響はすごかったですが、辛さ以外でどう受け入れられるか心配です…」
- (オーブンがピンポンと鳴り、フィナンシエを取り出す。美しい緑色と甘い香りが漂う)
- スタッフロ：「さあ、試食してみましよう！」
- (塩田が一口食べると、驚きの表情になる)
- 塩田：「これ、すごく美味しい！抹茶の香りが引き立ってる！」
- (スタッフたちも次々と食べて、賛同する声上がる)
- スタッフロ：「これはいける！抹茶のほろ苦さがいいバランスです！」
- (汐、満面の笑みを浮かべる)
- 汐：「これが新しい流行になる！次の発表会でこれを紹介しよう！」

・ 第五幕…大きなチャンス

・ シーン一：国際展示会への出展

・ (国際展示会でのブース設営中。汐と社員たちが準備を進めている)

・ 社員A：「展示会、たくさんのお客様が来るそうですよ！期待が高まりますね！」

・ (塩田が手帳を見ながら不安そうに)

・ 塩田：「社長、もう一度確認したいんですが、新商品の試食は大丈夫ですか？辛いものだけじゃなくて、抹茶チョコも出すすんですよね？」

・ 汐：「もちろんだ！両方のフィナンシェを出して、各国の人に体験してもらおう！」

・ 社員B：「社長、心配しなくても、これだけ注目されている商品なら、きっとバイヤーも驚くと思いますよ！」

・ (展示会が始まる。汐が壇上に立ち、元気に挨拶)

• 汐：「皆さん、こんにちは！今日は私たちの新しい挑戦を紹介します！『ハバナロフィナンシエ』と『抹茶チヨコフィナンシエ』です！」

• （来場者たちが興味を持って集まる）

• 来場者 A：「ハバナロとフィナンシエ？それは面白い組み合わせ！」

• 来場者 B：「抹茶チヨコも試してみたい！絶対美味しそう！」

• （来場者が試食し、驚きと笑顔が広がる）

• シーン 2：成功の瞬間

• （汐と塩田がブースでお客さんと交流）

• 汐：「どうですか？味は気に入っていただけましたか？」

• 来場者 C：「ハバナロフィナンシエ、最初は甘くて驚いたけど、後からの辛さがクセになる！もう一つください！」

• （汐、嬉しそうに）

• 汐：「ありがとうございます！その反応を待っていました！」

• （塩田も来場者に笑顔を向ける）

• 塩田：「抹茶チヨコモぜひ試してください！優しい味わいです！」

• （来場者たちが次々とフィナンシエを味わい、満足そうに頷く）

第六幕：新たな未来

• シーン13：帰社後の会議

• （展示会から戻った汐と社員たちが会議室で集まっている）

• 汐：「みんな、展示会の反響はどうだった？」

• 社員A：「たくさんのバイヤーが興味を持ってくれました！特にハバネロフィナンシエが大人気です！」

• 塩田：「抹茶チヨコモも多くの人に好評でした。これからの展開が楽しみです！」

• （汐、興奮気味に）

- 汐：「よし、次はさらに驚くべき新商品を考えよう！今度は何をやってみようか？」
 - （社員たちがそれぞれ意見を出し合う）
 - 社員 田：「次はスイカ味のフィナンシェなんてどうですか？」
 - 社員 の：「それとも、マッチャの抹茶クリームを使ったフィナンシェとか…」
 - （塩田、少し心配そうに）
 - 塩田：「社長、奇抜なアイデアもいいですが、少しは安定を求めても…」
 - 汐：「大丈夫！私たちのモットーは『面白きことも無き世を面白く』だ！これからもみんなで新しい挑戦を続けよう！」
-

- シーン 14：HP。ローグ

- （汐製菓の新商品のポスターが掲示されている。社員たちが集まっている）

- 社員たち：「社長、これからも面白いお菓子を作り続けましょう！」
- （汐、満足そうに頷き）
- 汐：「その通り！新しいアイデアを出して、世界中の人々を驚かせよう！私たちの挑戦はまだ始まったばかりだ！」
- （全員が笑顔で拍手し、舞台の幕が下りる）

完